

授業科目名	ヒロシマのこころ(広島医療と健康)				科目コード	N20104	
担当者	村木 士郎／藤原 光志／古澤 敏昭／河野 修興 他				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 被爆地広島市の被爆地の医療の歴史を振り返りながら、医学、看護学、リハビリテーション学などの関係学問領域を勉学する意義や実際に看護師としてこれらの学びを社会で活かすための方策について学修する。それぞれの領域の現場で活躍している医療人や患者さんの生の声を拝聴するとともに、原爆資料館や被爆証言などを現地で学ぶことにより、将来、医療人として活躍するためのより良い動機づけとなる。							
(到達目標) 1. 医療人としての心構えが理解できる 2. 人類を脅かす原子爆弾や放射線被曝について知ることができる 3. 患者を取り巻く他職種とのチームケア・連携の大切さが理解できる 4. ヒロシマの地で看護を学ぶ意義を知り理解することができる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義内容により授業形態が異なります。指示を守って静かに受講してください。 なお、校外学習では規律を守り、看護学生としての品位を崩さないようにしてください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス・看護のこころ					村木 士郎	
2	医療管理者から看護学生に期待すること					浅原 正利	
3	医療者に託す思い～がん患者の立場から～					中川 圭	
4	森林資源を活用した健康保持増進への取り組み					小林 敏生	
5	国際援助における医療					村木 士郎	
6	24時間後遺症をもつ人びとのリハビリテーションを考える仕事					宮崎 洋幸	
7	原爆被爆と毒ガス曝露による健康被害					河野 修興	
8	原爆被爆体験(1)					古澤 敏昭	
9	原爆被爆体験(2)						
10	校外学習					村木 士郎 藤原 光志 看護教員数名	
11	・原爆資料館見学						
12	・被爆証言を聴く会						
13	・平和記念公園及び慰霊碑めぐり ・まとめ						
14	地域医療特別講座					外部講師	
15	広島医療と健康 総合討論					藤原 光志	
成績評価方法							
期末試験(60%)：全体の講義終了後レポート試験 レポート(40%)：毎回授業終了後200文字程度の感想文を提出 授業態度：特に態度が悪い場合は欠席扱いとします ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各講義の内容がどのように「看護」に活かせるかを考えながら授業に臨んでください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
muraki@hcu.ac.jp (村木士郎)／fujiwara@hcu.ac.jp (藤原光志)							